

BIG BEN

p1 日本クラブの活動紹介

p2 写真探訪:ANPR (車のナンバープレートカメラ)

p3 領事便り: 郷に入れば郷に従え

p4-5 短信: 外務大臣表彰他

p6 日本クラブ会議室のご利用を!

p7 エッセー: 英国の自画像

p7 2019年広報委員会委員/2019年3月帰任の先生

p8 クラブサロン案内

会員が参加できる日本クラブの活動紹介

日本クラブの活動として、診療所や日本人学校の運営はよく知られていますが、クラブではその他にも英国生活を楽しくするために会員が参加できるいろいろな活動をしています。以下は簡単な活動紹介です。詳しくは日本クラブのホームページをご覧ください。

www.nipponclub.co.uk

●同好会

会員であれば誰でも参加できる日本クラブ同好会で以下の4つがあります。

<ゴルフ同好会> 50年以上の歴史を持ち、月例会をはじめ、ユーロカップ等を行っている。

<ブリッジ会> English Bridge Union に加盟する本格的な同好会で週例会のほか国際交換会も行っている。

<グリーンコーラス> 日本人女性によるコーラスグループで、定期演奏会やジャパン祭りでの演奏を行っている。

<囲碁会> 在英邦人の囲碁人口は減少気味だが、英国人や在英中国人、韓国人とともに囲碁を楽しんでいる。

●語学教室

日本クラブ主催による英語とフランス語の語学教室で、いずれも少人数制で、ネイティブ・スピーカーが教師です。初級から上級まで各種クラスがあります。期間は12週間(1回2時間)で4月、9月、1月開講です。

●ゴルフアカデミー

Harrowにある最新の設備を備えた Play Golf North-



wick Parkで、英国のゴルフ教師資格を持つ日本人インストラクターにより、基礎から上級まで、きめの細かい指導を受けられます。コースは週1回(2時間)レッスン5回で6週目にはハーフラウンドを体験できます。

●セミナーやバスツアー

会員サービス委員会が企画する各種セミナーや講演会、また、日英交流促進委員会が企画するシティ散策ツ



日本庭園清掃風景

(2面へ続く)

アー、ワイナリー見学バスツアー、ロンドンにある日本庭園の清掃作業等、英国をもっとよく知るためのイベントがたくさん企画されています。

●会員主催の教室・講座

クラブサロンの会議室を使って会員の主催によるいろいろな教室や講座が定期的に行われています。いずれも英国における生活を豊かにするものばかりです。会員であればだれでも参加できます。

※これはクラブ主催ではありませんので、詳細は各主催者にお尋ねください。

●クラブラウンジ

サザックにある日本クラブのクラブハウスにはラウンジがあります。JSTVやフリーペーパー、日本語の雑誌、コーヒー、紅茶の自動販売機も備えています。

●貸し会議室

日本クラブの会議室は会議だけでなく、セミナー、勉強会、催し物等、いろいろな目的に使用することが可能

です。会員であれば誰でも利用することが出来ます。料金及び会議室のレイアウトはP6を参照してください。



大会議室でのセミナー風景

日本クラブからの活動のご案内はメールで配信されます。情報を取得するためにはメール登録が必要です。登録は会員及びその家族であれば誰でも可能です。家族各人がそれぞれに登録することも可能です。登録は日本クラブのホームページから簡単に出来ます。登録は無料です。

写真探訪 Around London

[ANPR]

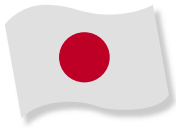
大きなスーパーに車で買い物に行くと「Welcome XXXXXXX」という電光掲示板が点灯し、自分の車のナンバープレートが掲示される。サービスの 일환かと思いきや、スーパーはデータを保管管理し、この客はどのくらい頻繁に買いものに来るかという記録を取っている。またスーパーの駐車場をちゃっかり使うドライバーに駐車違反の罰金を科す記録にもなる。このシステムはANPR: Automatic Number Plate Recognition (車両ナンバー自動読み取り装置＝日本ではNシステムと呼ばれている) によるもので、イギリス中に無数に設置されている。

ロンドン中心部に車で入るときに必要なコンジェスチョン・チャージの支払いをチェックするために外部からロンドンに入る各道路の入口にANPRカメラが設置され

ているのはよく知られているが、その他にも幹線道路や商店街等あらゆる場所に設置されており、盗難車の発見や犯罪者の追跡といった犯罪捜査だけでなく、スピード違反やバスレーン侵入違反等の交通違反摘発に大活躍している。

(文・写真：加藤節雄)





郷に入れば郷に従え

今回をもちまして、私の領事だよりの担当は最後となります。今まで、読んで頂き有り難うございます。次号からは、新しい領事が担当となります。引き続き、宜しくお願いします。

ところで、皆さんは海外旅行に出かけた先で、例えばパリやニューヨークで市内観光に出かけるとき、どんな格好で出かけますか。出来るだけ持ち物を少なくし動きやすい格好が一番安全と言えますから、出来れば手ぶらがいいでしょう。しかし、バッグ等が必要な場合もあるでしょう。そこで今回は街中でのバッグの安全な持ち方について考えてみたいと思います。

普通、バッグは手で持つか肩から下げますが、スリや引ったくりが多い国では、肩からたすき掛けにして、バッグのふたを内側にして身体の前で持つのが安全です。こうすると必要な時に開けにくいのですが、これは犯罪者にとっても同じですから狙われにくいようです。ところが、この持ち方は時として悲劇を生むことがあるので気をつけて下さい。

例えば、『ローマに旅行した30代の女性添乗員が、団体客が待つレストランに向かう途中、バイクに乗った2人組にバッグを引ったくられそうになり、抱え込んで守ろうとしたが強引に肩紐を引っ張られて転倒し、歩道の縁石で頭部を強打し重傷を負った。』という事例がありました。

この女性添乗員は経験豊富な方で、用心してバッグの肩紐をたすき掛けにしていたのですが、これが災いして体勢を立て直す暇無く転倒してしまったようです。

この他、男性でもショルダーバッグの肩紐を引っ張られて転倒し骨折した例や、中には転倒した時の当たり所が悪く亡くなられた方の例もあります。

バッグの持ち方一つとっても、国や地域によってその対応の仕方が違います。被害に遭わないためにたすき掛けに持つか、盗られても構わないがあおられて怪我をしないように持つかは判断の難しいところですが、あまりにも細かい点まで気にすると疲れてしまうと思います。また、そんな心配はほとんど無用の安全な場所もたくさんあります。最も簡単で確実な方法は、市内観光に繰り出す時には周囲を見回し、現地の人と同じように、そして注意深く行動することでしょう。

日本の諺に「郷に入っては郷に従え」というのがありますが、欧米でも同じように「ローマに居るときはローマ人のように振る舞え」というのがあります。現地の人と同じようにバッグの上からコートを羽織ってみましょう。ちょっとした心がけで、皆様の旅行が楽しいものになると思います。是非、参考になさってください。楽しい旅行を！

竹内誠治領事には「びっぐべん」2016年7月号から3年近く「領事便り」を執筆していただきました。長い間有難うございました。

在外選挙登録をお願いします！

皆様、今年夏には参議院選挙（第25回参議院議員通常選挙）が実施される予定です。皆様が当館で投票するためには、在外選挙人登録が必要です。この機会に是非ご登録ください。手続きの詳細は、以下のホームページを参照ください。

●当館ホームページ：

www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/index_000055.html

●総務省ホームページ：

www.soumu.go.jp/senkyo/hoho.html

なお、実際の投票方法は、①在外公館投票（海外の日本大使館、総領事館等に設けられた投票記載場所で投票する）、②郵便等投票（直接日本国内の選挙管理委員会に投票用紙を請求し、送付された投票用紙に記載して返送する）、③日本国内における投票の3つの方法があります。詳細は当館ホームページ等でご確認下さい。当館に電話（020-7465-6500）でお問い合わせいただいても結構です。（日本大使館領事班）

短 信

COMMUNITY PLAZA



フリーマン氏に 外務大臣表彰

過去 20 年間、ロンドンのロイヤル・ケンジントン&チェルシー区の区議会議員を務めたロバート・フリーマン氏 (Councillor Robert Freeman) が日本の外務大臣表彰を受章した。フリーマン氏は同区のホーランド・パーク内の福島庭園の造園を積極的に推進したほか、福島県本宮市にイングリッシュ・ガーデンを造園することに貢献。現在 2 つの庭園は姉妹庭園となっている。また、氏はケンジントン地区の文化的雰囲気と日本文化の発信拠点との融合というビジョンの下、2015 年～16 年の区長時代を含め、ケンジントン地区におけるジャパン・ハウスの設立を支援した。表彰状の伝達式は昨年 11 月 22 日 (木) 日本大使館で行われた。(写真①日本大使館提供)

ミルフォード氏に 在外公館長表彰

刑事司法の分野で日英間の相互理解と協力に尽力したことが認められ、英国の重大経済犯罪庁 (Serious Fraud Office =SFO) の総合顧問であるアラン・ミルフォード氏 (Mr. Alun Milford) が在外公館長表彰を受賞した。氏は長年にわたり、日英の捜査・訴追機関相互の良好な関係に大きく貢献してきたほか、SFO における日本の検察官を研究員としての受入れ、法務省での講演の実施等を通じて、日本における英国刑事

司法制度の研究促進に貢献した。氏は受賞に際して、日英の刑事制度は異なるものの、法の支配の重要性・法遵守の文化については同じであり、日英間の良好な関係に今後も貢献していきたいと述べた。表彰式は 11 月 29 日 (木) 駐英日本国大使公邸で行われた。(写真②日本大使館提供)

グレアム・ロレンス氏が 優勝

今年第 29 回目を迎えるサー・ピーター・パーカー賞ビジネス日本語スピーチ・コンテスト (SOAS/JETRO 共催) が 2 月 13 日 (水) ロンドン大学 SOAS のブルネイ講堂で開催された。今年の応募者は 20 人で、この日は予選を通過した 8 人のファイナリストが審査員と質問者の前でスピーチを競った。このスピーチ・コンテストはビジネスの話題をテーマにしたもので、日本語能力だけでなくスピーチの内容も重要なポイントとなっている。熱戦の結果今年は日本企業に 30 年間勤めた経験を踏まえて日英文化の相違を克服するためのアドバイスを披露したグレアム・ロレンス氏 (日立ヨーロッパ) が優勝し、カップと日本行き往復航空券等を獲得した。(写真③)

優勝 : Mr. Graeme Lawrence (Hitachi Europe)
2 位 : Ms. Jusztna Bukta (Bloomsburg LP)
3 位 : Ms. Susan Cooper (Mitsui & Co. Europe)

特別賞 : Ms. Melissa Parnaby
(北陸銀行)

先端技術の プロトタイプ展

日本の最先端技術と日本ならではの繊細な美意識が融合したインダストリアル・デザインの美しいプロトタイプがケンジントンのジャパン・ハウス地下ギャラリーで展示されている。この展覧会は東京大学教授山中俊治氏が研究室のメンバーと開発してきたもので、「Prototyping in Tokyo : 先導するデザインの制作絵巻」展と題されている。展覧会は「構造・動き」「質感・触感」「身体拡張」の 3 つのテーマで構成され、山中研究室で開発された数々のプロジェクトがプロトタイプの制作プロセスを通して絵巻物の様な形式で紹介されている。(写真④は競走用のブレード義足)

● Prototyping in Tokyo

Japan House London:

101-111 Kensington High Street,
London W8 5SA

3 月 17 日 (日) まで

www.japanhouselondon.uk

コータッツィ氏 記念追悼会

昨年 8 月に 94 歳で亡くなった元駐日英国大使サー・ヒュー・コータッツィ (Sir Hugh Cortazzi) 氏の記念追悼会が 2 月 11 日 (月) ロンドンのセント・ポール大聖堂地下の OBE Chapel で開

短 信

COMMUNITY PLAZA



催された。コータツツィ氏は親日家として日本人の間でもよく知られており、追悼会にはたくさんの人が出席した。

ロンドン大学で 酒シンポジウム

イギリスでは日本酒のプロモーションが盛んだが、2月20日(水)にはロンドン大学のSOASにある日本研究センター(JRC)が主催してSOASのカリリー講堂で日本酒シンポジウムが開催された。会場には日本に興味を持つ学生が集まり、「浦霞」蔵元社長の佐浦弘一氏を始め多彩なスピーカーから日本酒の歴史や製造方法、ビジネスの話を聞いて勉強した。シンポジウムの後、参加者は各種日本酒テスティングを楽しんだ。(写真⑤)

廣田丈自 コンサート

在英の和太鼓演奏者廣田丈自さんが東日本大震災津波復興祈願のコンサートを開催する。大震災から8年、廣田さんは毎年復興祈願のコンサートを開いている。今回のコンサートはロンドン太鼓ドラマーズの他にロンドン・メトロポリタン・オーケストラのストリング・アンサンブルとの共演で、日本のフォークソングや太鼓演奏を中心にプログラムが組まれている。(写真⑥)

● Joji Hirota & The London Taiko Drummers
3月9日(土) 7:00pm 開演

St Mary's Church Putney:
High Street, Putney,
London SW15 1SN
Putney Bridge / East Putney
ⓧ 入場料: £15、£10 (con)
www.jojihirota.com

Ensemble Canon コンサート

日本人女性4人のグループ「アンサンブル・カノ・オン」(花ノ音)がハムステッドのBurgh Houseで2年ぶりのコンサートを開催する。2001年に同会場で第1回目のコンサートを開いてから今年で9回目になる。歌手3人とピアノで構成されるメンバーは日本では主に関西を中心にオペラ・カンパニーに属して活動している。コンサート第1部では主に日本人に親しまれている自然を題材にした日本の歌を、第2部では愛を扱ったヨーロッパの名曲を歌う。(写真⑦)

●「花音」Voices of Flowers

Ensemble Canon from Japan
3月24日(日) 6:30pm 開演
Burgh House: New End Square,
Hampstead, London NW3 1LT
Hampstead
ⓧ 入場料: £9

<https://burghouse.museumssites.com>

※「アンサンブル花音」は滞在中に日本クラブのグリーンコーラスと交流したり、老人ホームへの慰問、

教会での無料ランチコンサートも開催する。

●「日本の歌コンサート」

3月29日(金) 1:00pm ~

St. James's Church:

Sussex Gardens, Paddington,
London W2 3UD

ⓧ Paddington

入場無料

グリーンコーラス 春のコンサート

日本クラブ女性合唱団グリーンコーラスが、恒例の春のランチタイム・コンサートを開催する。2011年の東日本大震災のチャリティー・コンサートとして始まったこの春の演奏会も今年で9回目となる。今回のコンサートでは事故で手足を失くした星野富弘さんの詩にロンドン大学で作曲を学んだなかにしあかねさんが曲を付けた「今日もひとつ(Here's Another One, Today)」が披露される。(写真⑧)

3月13日(水) 13:15 ~

St. Dunstan in the West: 186a
Fleet Street, London EC4A 2HR

指揮: 高塚翠華

ピアノ: 関谷紀子

主な曲:

- ・ Down by the Salley Gardens
- ・ 「今日もひとつ」
- ・ 日本の唱歌 他

入場無料(教会への寄付募集)

londongreenchorus@gmail.com

こんなに便利 貸会議室のご利用を！

ロンドンには日本企業だけでなく、日本人のための組織や団体がたくさんあります。そういった人たちは常に会議室やセミナーを開催できる場所を探しています。日本クラブはそんな人たちのために便利な会場を提供しています。

日本クラブにある大小3つの会議室は仕切壁が可動式ですので、参加人数に合わせていろいろな組み合わせで利用することが出来ます。以下は組み合わせの参考です。

<会議室 A、C>

各室とも机と椅子を使って12名まで座れます。10人前後の勉強会やレッスン、趣味の会、親睦会に適しています。

<会議室 B>

18人まで机を使って座れます。少し人数の多い集まりに適しています。

<会議室 A+B、B+C>

仕切壁を移動することにより、A室とB室を繋げたり、B室とC室を繋げて使用することもできます。その場合26名前後の人が座れます。

<会議室 A+B+C>

3つの会議室の仕切壁をオープンにして大会議室とし

て使うことが出来ます。机を入れた場合には34名まで座れます。また、セミナーや講演会では机なしで椅子を並べることにより60名ぐらい収容できます。

各会議室にはスクリーンが備えられており、ラップトップ、プロジェクター、ワイヤレスマイク、Wi-Fiの設備もあります。

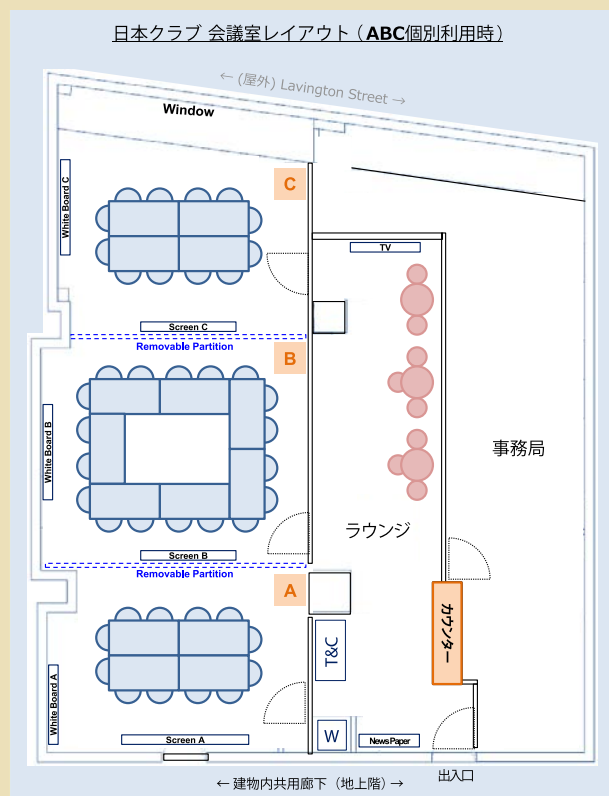
日本クラブ会議室は会員であれば誰でも利用できます。利用申込書は日本クラブ・ホームページ (www.nipponclub.co.uk) からダウンロードできます。詳しい利用規定はクラブ・ホームページか事務局 (TEL: 020-7921-9490) へ。



会議室 B



大スクリーン



貸し会議室利用時間・料金

	平 日			土 曜	
自 至	10:00 ~ 13:30	14:00 ~ 17:30	18:00 ~ 20:45	10:15 ~ 12:45	13:15 ~ 15:45
A or C (各 12 名)	£61	£61	£55	£44	£44
	£122			£88	
		£116			
	£117				
B (18 名)	£66	£66	£60	£60	£60
	£132			£120	
		£126			
	£192				
A + B or B + C (各 26 名)	£127	£127	£115	£104	£104
	£254			£208	
		£242			
	£369				
A + B + C (各 34 名)	£188	£188	£170	£148	£148
	£376			£296	
		£358			
	£546				

英国の自画像

国の頭首達が雄弁に、「この国を偉大にする」と聞き飽きるほど言っていますが、ブレグジット騒ぎのイギリスでは、実は民主的に「何が英国を偉大にしているか」の国民投票を経て、去年の3月にロイヤル・ミントより新しいデザインの10ペンスコインが鑄造され、流通し始めました。

これらの新コインのデザインは、英国が誇るものをアルファベット26文字の付く言葉から選ばれたものです。詳しくは以下に述べますが、意外にも女王やラグビー、フットボールが選外だったり、伝統的なものもあれば、「これは何？」と言ったものもあります。

A : Angel of the North	K : King Arthur
B : Bond, James Bond	L : Loch Ness Monster
C : Cricket	M : Mackintosh
D : Double Decker Bus	N : National Health Service
E : English Breakfast	O : Oak Tree
F : Fish & Chips	P : Post Box
G : Greenwich Mean Time	Q : Queuing
H : Houses of Parliament	R : Robin
I : Ice Cream Cone	S : Stonehenge
J : Jubilee	T : Tea

U : Union Flag	X : X Marks the Spot
V : Village	Y : Yeoman
W : World Wide Web	Z : Zebra Crossing

その昔、大陸側から海路ブリテン島に近づくと、ホワイト・クリフが印象的だったため、アルビオン（Albion: White land）と呼ばれたり、映画「メアリー・ポピンズ」の冒頭、上空よりレンガの家並みを見下ろすシーンなど、視覚で英国を象徴するものもあります。しかし、現代、真に英国が誇るものは、新シリーズの10ペンスコインのように、様々な要素がモザイク的に組み合わせられたものに他なりません。

そして、ロイヤル・ミントがこのシリーズを“Quintessentially British A to Z”と名付けているところに英知を感じざるを得ません。“Quintessence”とは、水、火、空気、地の4つの要素を超え、宇宙全体を構成すると考えられた第5要素を意味するラテン語由来の言葉だからです。全ての点を包括した点描画こそ、今の英国の自画像と言えるでしょう。

この記事をお読みの皆様、今すぐ財布の中の10ペンスコインをご覧ください。（なかなか見つからないものですが。）

2019 年広報委員会委員

委員長：

石合 力（朝日新聞）

委員：

須永 逸人（日本大使館）
竹内 誠治（日本大使館領事）
筒井 裕子（日本郵船）
菊池 保宏（日本航空）
加藤 節雄（Kato Media・「びっぐべん」編集長）
笹川真理子（英国文化センター）
森嶋 瑤子（英国日本婦人会）

広報委員会の主な任務は奇数月発行の日本クラブ広報誌「びっぐべん」の編集・発行と、クラブのHPの運営、その他一般的なクラブの広報・宣伝活動です。委員長と委員の数人は毎年交代します。「びっぐべん」はクラブの活動報告だけでなく、会員の英国生活の役に立つ記事を掲載しています。

2019 年 3 月帰任の先生

ロンドン日本人学校

根路 銘 敢（ねろめ つよし）
校長 沖縄県
江川 悠介（えがわ ゆうすけ）
教諭 秋田県
池田 沙織（いけだ さおり）
教諭 千葉県
大島 隆一（おおしま りゅういち）
教諭 愛知県
宮崎 美登子（みやざき みとこ）
教諭 香川県
永吉 幸雄（ながよし さちお）
教諭 鹿児島県



新規加入の法人会員

- ◆ 豊田通商オートモビルロンドン
ホールディングス
Toyota Tsusho Automobile London Holdings
- ◆ コニカミノルタマーケティングサービス
Konica Minolta Marketing Services



退会届をお忘れなく

日本へ帰任、また英国以外の国へ転任される会員の方は日本クラブへ退会届を忘れずに提出してください。退会届は日本クラブのホームページからダウンロードできます。



日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆ 月例会：開催中
- ◆ 会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956-551363 (外山健二)
kenjitoiyama787@gmail.com
随時入会受付中 (申し込みは HP から)



日本クラブ・ブリッジ会

- ◆ 例 会：毎週木曜日 (11:30am 開始)
- ◆ 会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
<http://ycbc.co.uk>
- ◆ 問い合わせ：yasy9395@aol.com (宮崎)
見学者歓迎



日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆ 練習日：毎週月曜日 (10:15 ~ 12:30)
- ◆ 会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆ 問い合わせ：
londongreenchorus@gmail.com



日本クラブ囲碁会

- ◆ 例 会：毎週土曜日 (14:00 ~ 20:00)
- ◆ 会 場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3 より
直進 2 分
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956-594040 (田中)
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV 等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩 5 分、ロンドン・ブリッジ駅からは 10 分の便利な場所にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ (www.nipponclub.co.uk) の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- * 建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。(会員証の提示を求められることもあります)
- * 閉館時間以外はシャッターが閉まっていて入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ
TEL : 020-7921-9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk
月曜～金曜：午前 10 時～午後 9 時 (事務局は午後 6 時まで)
土曜：午前 10 時～午後 4 時 (事務局は休日)
日曜・祭日は原則休館
* 平日午後 6 時以降と土曜日は会議室の利用状況により閉館することがあります。

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動(5年生以上)
- 通学バス利用可



ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語(日本語)の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約 40 回
- 校舎はアクトン、ブレント、クロイドンの 3 校舎
- 小・中学部・高等部
(学習指導要領に準じたカリキュラム)
- 日本語科 (日本語を第 2 母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に 7 クラス設置)

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業 300 社がサポートしています / 英国で 50 年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科
小児科
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRI などの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行
保険で
キャッシュ
レス

www.nipponclub.co.uk/clinic

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)
60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線 St John's Wood 駅から徒歩 3 分)

020-7266-1121
(要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療)